2013年11月6日

GPコジマジック議事録

○中島　小学校指導要領まとめ

※太字＝旧版にはなかったもの

・コミュニケーション関係の言及が増えている

話し合おうとする態度→話し合う能力！

・具体性アップ

　内容のジャンル多様化、日本文化（古典）重視化

・作文に何時間、とかはないけど「話す」「書く」…の時間数は決まっていて、時間数増加

・道徳との結びつき「国語科の特質に応じて適切な指導をすること」ってどういう意味？

・情報機器の使用

・「自分の意見をまとめる」系多い。「他者の意見を尊重し自分との違いを見る」

・話す、聞く、書く、読む、の関連性を持たせる

→私達の時代より実践面は充実しているのではないか？先週の問題意識設定だといまいち…

○川島

・気になるところ！**「道徳教育との重なりによる曖昧さ」**

人格形成的なところ。

○中丸

・『2008年改定における書くこと領域の改訂』

PISAを受けて「進んで書こうとする」「引用、図表やグラフを用いる」など

PISA型読解力についてはわかるけど、「自分の志向、認識を確立させ深める」という視点が抜け落ちている。

・『目的や意図に応じて～』

　・「言語活動の充実」具体的活動事例の増加、系統性を踏まえる

　・領域相互のつながり

　・「交流に関する指導事項」の追加

○小島

◆前回の改訂について　井上尚美

・表現、コミュニケーション能力の重視

　・領域構成を話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと　と　言語事項に変えた（1968年版にもどった）

　・この学習指導要領で批判的志向が育てられるのか？情報処理の技能は身に付くが批判という観点がない

　・反動的な文学教育軽視

◆石丸「書くことにおける意見文学習…」

PISA型読解力（情報取出し、テキスト解釈、塾校・評価、自分の考えや理解を述べる

→意見文学習

◆PISAを受けて読解力・思考力・表現力を総合的に養成していくスタンス

◆批判的能力は重要…

○国広

○話し合い

・「PISA型読解力を養うための教育というスタンス」

→PISA型読解力は限定的なものなので取りこぼしがあるかも？

・生きる力

・道徳教育との関連は他の教科にもあるのか？→国語の領域を超えすぎているかも…？

・国語科に、いわゆる言語活動の技能を身につけるという機能だけでなく、道徳修養という文脈を加える妥当性はあるのか？

　国語科の目標と、道徳の目標は別物！

でも日本ではもともとそういう流れがあった。**→なぜ？**

**→生活綴方の考え方と関係がありそう…**

**新自由主義運動とか？**

・国語科と他の教科との関わりもあるはずなのに、他の科目との関連として道徳しか書かれていないのはおかしくないか。

・国語科と道徳の混同

・文学教育が気になる（→道徳との混同）

・愛国教育的…？

・国語の教科書　題材選びなど

○宿題

・道徳と国語科の関係（中丸、国広）

・国語の教科書（田中、川島）

・文学教育（中島、小島）

このトピックから調べて、PPを考える！先行研究者の意見に注目！